

市町村による 全国がん登録情報の活用支援

P3-8

佐藤洋子¹⁾ 片桐優希¹⁾ 金村政輝^{1) 2)}
¹⁾ 宮城県立がんセンター 宮城県がん登録室
²⁾ 宮城県立がんセンター 研究所がん疫学・予防研究部

【目的】

がん登録等推進法では、市町村は、がん登録情報等を活用してがん検診の質の向上、その他のがん対策の充実に努めるものとされているが、宮城県で利用は進んでいない。

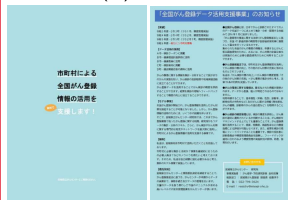
そこで我々は、がん登録情報が市町村のがん対策に有益な情報であることを知っていただくため、令和3年度から活用支援を目的とした無償のモデル事業を開始し、3年間実施したのでその成果と課題を報告する。今回は集計分析について報告する。

【周知方法】

宮城県内の全35市町村に案内を送付し、希望する市町村と業務委託契約を個別に締結した。

法第19条の利用申請から集計分析及びデータの管理までを宮城県立がんセンターが担う業務内容とした。

令和6年度（表） （裏）

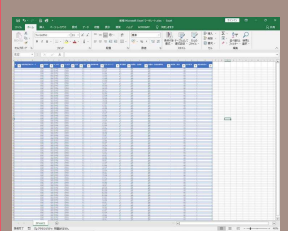
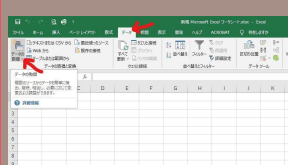


令和3年度 令和4年度 令和5年度



【計算方法】

データの受領からリーフレットの作成までの作業時間の短縮と効率化を図るため、ExcelにAccessデータを取り込むことでパッケージ化を試みるなど工夫した。



【結果】

委託契約をすることで申請からデータの管理まで一元管理が可能となり、データの安全管理措置もクリアすることができた。

毎年、県内全35の市町村に案内を送付し

★令和3年度・・・5市町
 ★令和4年度・・・6市町
 ★令和5年度・・・7市町

と委託契約を締結した。徐々にではあるが増加している。

しかし、令和5年度は全国がん登録データベースのシステム更改に伴う不具合によりデータが提供されなかったため、集計ができなかった。

委託契約を結んでいるため、結果の納品ができなかったことで、市町村へ遅延理由書を提出することとなった。

集計ができない中ではあったが、他の市町村の取り組みを知りたいとの希望もあり、令和5年度もWebによる情報交換会を開催した。情報交換会には、委託契約をした全ての市町村に参加いただいた。

参加者からは、

★感覚的に感じていたことが数値化されてよかった。
 ★がん対策に役立てられた。
 ★結果をどのように活用したら良いかわからない。
 ★情報を活用するには結果の納品時期が問題。
 などの意見が出た。

【データの活用事例】

A市…検診クーポンに掲載
 B市…健康増進計画評価に活用
 B市…健康教育に活用
 C町…検診案内に掲載
 D町…議会質疑応答の資料に活用

【集計例】

★リーフレット

トップページは罹患数の把握



2ページ
・人口と罹患数
・年齢調整罹患率



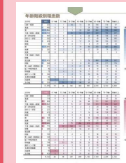
3ページ
・部位別性別
・部位割合の比較



4ページ
・がん検診での発見割合



5ページ
・年齢階級別罹患数



6ページ
・年齢階級別罹患率
部位別にグラフ化



7ページ
・進捗度
3分割で表現



8ページ
・発見経緯と進捗度のクロス集計



★詳細集計表

過去3年分の集計

- ① 年齢階級別 罹患数集計
- ② 部位別・性別 罹患数集計
- ③ 年齢階級別・部位別 罹患数集計
- ④ 発見経緯別の割合
- ⑤ 進捗度別割合
- ⑥ 発見経緯別・進捗度別集計
- ⑦ 年齢調整罹患率(10年分)
- ⑧ 標準化罹患比(10年分)

希望による集計

- ① 医療機関別集計
- ② 地域別罹患数集計

【結論】 将来的には県内全市町村を対象とした継続的な事業化を目指しているが、契約事務手続きの煩雑さ、データの提供時期も課題である。

また、全国がん登録情報の認知度を上げるための工夫も必要である。

当演題発表に関し、発表者らに開示すべきCOIはありません。